

算数を身近に感じ、生活に生かす指導の工夫

- 学んだことを関連づけて活用する活動を取り入れて -

長期研修員 今井 真弓

研究の検証授業(小学校3年生 「長い長さをはかろう」)で使用した本時案、学習プリント等が載せてあります。

1 目標・評価規準及び指導・評価計画 ----- 158～161ページ

2 本時案・学習プリント

第1時 ----- 162ページ

第2・3時 ----- 164ページ

第4時 ----- 166ページ

第5時 ----- 167ページ

第6時 ----- 169ページ

第7時 ----- 170ページ

第8時 ----- 171ページ

第9・10時 ----- 172ページ

第11時 ----- 174ページ

※ 学習指導案 単元の考察については、研究報告書 内容編150ページを参照

1 目標・評価規準

(1) 単元の目標

長いものの長さの測定を通して、長さの概念について理解を深めるとともに、目的に応じて単位や計器を適切に選択して測定することができる。

(2) 評価規準

	ア 算数への関心・意欲・態度	イ 数学的な考え方	ウ 数量や図形についての表現・処理	エ 数量や図形についての知識・理解
内容のまとめと評規準	<ul style="list-style-type: none"> 長さ、かさ、重さ、時間にかかわる知識や技能などの有用性及びそれらの性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることの楽しさやよさに気づき、進んで生活に生かそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 長さ、かさ、重さを調べたり表したりする算数的活動を通して数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について、見通しをもち筋道を立てて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な場合について、長さ、かさ、重さの測定をしたり、必要な時刻や時間を求めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 長さ、かさ、重さ、時間の大きさについての感覚を豊かにするとともに、長さ、かさ、重さの単位と測定の意味、時間の単位の関係、必要な時間や時刻の求め方を理解している。
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じた単位や計器を適切に選んで測定しようとする。 1 kmを実際に調べようとする。 身の回りの様々な場面において、どんな単位がどのように使われているかを調べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 1 mの単位を基にして、1 kmという新しい単位をとらえたり、必要に応じて新しい単位を作るという考えのよさに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻き尺を用いて、いろいろなものの長さを測定することができる。 長さの単位(km)を用いて身の回りの具体物の大きさを表すことができる。 長さを測定するとき、おおよその見当をつけ測定に用いる単位や計器を適切に選択できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻き尺を用いる場合とその使い方が分かる。 長さの単位(km)を知り、他の長さの単位との関係を理解している。 1 kmの大きさを調べる活動を通して、長さの大きさについての豊かな感覚をもっている。
学習活動における具体的評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ②③ 手作りものさしをすすんで活用しようとする。 ⑤ 目的に応じて単位や計器を適切に選んで測定しようとする。 ⑧ 長さの学習を使って、身の回りで生かせることはないか、自分で調べたい課題を持つようとする。 ⑨⑩ 1 kmが学校からどの辺りまでの長さか自分の家からどの辺りまでの長さかなど、進んで調べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 長い長さを測るには、1 mのものさしでは不都合なことに気づき便利な方法を考えようとする ⑥ 長い道のりなどを表すには「m」よりも大きい単位があれば、便利であると考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ②③ 長さを測定するときおおよその見当をつけ測定したり、手作りものさしを用いて、いろいろなものの長さを測定することができる。 ④⑤ 「km、m」の単位を用いて、道のりや距離を調べたり、表したりすることができる。 ⑦ 「km、m」の単位を用いて、道のりや距離を調べたり、表したりすることができる。 ⑨⑩⑪ 計測したことを「km、m」の単位を用いて調べたり、表したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 1000 m = 1 kmの単位関係が分かる。 ⑨⑩⑪ 計測したことを「km、m」の単位を用いて調べたり、表したりすることができる。

上の表の①、②、…の数字は、「(3) 指導・評価の計画」の1時間目、2時間目、…に対応することを示している。

(おおむね満足できる状況)

- 身の回りのものの長さ、学校から1 kmの長さなどを調べる活動に関心をもって、取り組もうとしている。
(関心・意欲・態度)
- 1 mを基にして、1 kmという新しい単位をとらえたり、必要に応じて新しい単位を作るという考えのよさに気付く。
(数学的な考え方)
- 簡単な場合について、kmを用いて身の回りの長さを測定することができる。
(表現・処理)
- kmの単位の意味や必要性について理解している。
(知識・理解)

(十分満足できる状況)

- 身の回りのものの長さ、学校から1 kmの長さなど、自分たちの生活の中にあるいろいろな長さに関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。
(関心・意欲・態度)
- 単位となるもののいくつかで長さをとらえたり、長さという量の大きさについての感覚を豊かにしたりしている。
(数学的な考え方)
- 身の回りの長さを測定したり、場面に応じて直接比較、間接比較、任意単位、普遍単位の測定の四つの方法を選択したりすることが確実にできる。
(表現・処理)
- kmの単位の意味や必要性について確実に理解したり、直接比較、間接比較、任意単位、普遍単位の測定の四つの方法を理解している。
(知識・理解)

(3) 指導・評価計画 (全11時間予定) 個…個人追求 グ…グループ追求 全…一斉学習

過程	ねらい (○) と 主な学習活動 (・)	時間	形態	学習への支援 ☆努力を要する状況の児童への 手立て	学習活動における具体的 評価規準 (評価方法) ○おおむね満足できると 判断される状況 ◎十分満足できると判断 される状況	見 通 し
つ か む	<ul style="list-style-type: none"> ○校舎内を計測することを通して長いものの長さを測るには工夫して計測する。 ・学習問題「長い長さのはかり方を考えよう」を考える。 ・3階多目的ホールの縦の長さは何の位になるのか予想し実際に調べる。 ・計測結果について発表し話し合う。 ・学習感想を書く。 	1	個 グ 全 個	<ul style="list-style-type: none"> ・他の学校から届いたその学校の大きさを知らせる手紙を読むことを通し、子供たちに自分たちも計測していこうとする気持ちが持てるようにしていく。 ・既習した学習内容を基にどのように計測したらいいか計測方法を考える。 ・ものさしで長いものを測ると誤差がでてしまうことを共通のものを測ることで実感がもてるようにする。 ・計測結果の問題点を話し合うことにより、巻き尺のような測定道具の必要性に気付くようにしていく。 ・学習感想では「わかったこと」「きょうのじゅぎょうについて」(自己評価)などについて、児童が書くことができるものを用意する。 	<p>表</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1 mものさしや30cmものさしなどを使って正確に計測することができる。 ◎1 mものさしや30cmものさしなどを使って手際よく正確に計測することができる。(観察、学習プリント) 	見 通 し
	<ul style="list-style-type: none"> ○長い長さや丸いものの長さを測る道具をつくることができ、そのよさを理解する。 ・前時の学習を振り返り、長い長さを測る道具の必要性を想起する。 ・測定に使う道具を考える。 ・測定に使う道具をつくる。 	2 ・ 3	全 個 グ	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に学習した、1 mものさしで計測するのは、時間がかかったり、誤差が出たりすることを想起して道具を工夫していくようにする。 ・30cmものさしや1 mものさしの目盛りの工夫を想起し、使いやすい手作りのものさしをつくる。 ・長い長さを測る手作りのものさしなので、3～4人グループになって協力しながらつくっていくようにする。 	<p>関</p> <ul style="list-style-type: none"> ○長いものや曲線部分を測るには、手作りものさしが便利にことに気付き、すすんで手作りものさしを使おうとしている。 ◎長いものや曲線部分を測るには、手作りものさしが便利にことに気付き、すすんで手作りものさしを使おうとしている。(学習プリント、観察) 	見 通 し 1
	<ul style="list-style-type: none"> ・手作りのものさしで長さを調べる。 ・学習のまとめをし、学習感想を書く。 		グ 全 ・ 個	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで相談し合いながら測りたいものを決めていくが、予想や結果については個人でカードに記入していく。(測定したもの、予想、結果) ☆測定になかなか興味・関心をもてずにいる児童にはどんな長さを知りたいのか話しながら助言していく。 ☆測定の仕方が不十分だったり、長さの見当をつけることができ 	<p>表</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの具体物の長さを手がかりとして、長さの見当をつけることができる。 ◎自分の体の一部や身の回りの具体物の長さを手がかりとして、長さの見当をつけたり、身の回りのものの長さを手際よく正確に測り、ノートに記録することができる。(学習プリント) 	見 通 し

追 求 す る	<ul style="list-style-type: none"> ○巻き尺の使い方の習熟を図り、長さの量感を育てる。 ・前時の学習を想起し、手作りものさしのよさを確認し長さの測定のための道具、巻き尺とその使い方を知る。 ・巻き尺の目盛りを読む。 ・巻き尺を使って、計測したいものを計測する。 ・計測結果を記録し、発表する。 ・学習感想を書く。 	4	<p>なかつたりする児童は、30cmものさしも使い、手や腕など体の一部で手がかりが持てるようにしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を想起し、手作りものさしの長所や短所を確認し巻き尺の有用性や使い方を理解できるようにしていく。 ☆巻き尺の測定の仕方について確認していくようにする。 	<p>表</p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻き尺を使って正確に測ることができる。 ◎巻き尺を使って手際よく正確に測ることができる。(観察、学習プリント)
	<ul style="list-style-type: none"> ○100mの量感を育てる。 ・学習問題「100mさがしゲームをしよう。」を考える。 ・各自が方法を考え、自分で10mまでの長さを確かめながら、100mの長さを探していく。 ・100mの位置を長い巻き尺を使って調べ、自分が見当をつけた位置を確認し、100mの長さを体感する。 ・学習感想を書く。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に手作りものさしで測定したものの長さを巻き尺を使って確認し、手作りものさしでもおおよその長さが分かることに気付くことができるようにする。 ・前時の学習で行った長さよりも少し長い長さを測ろうという意欲をもたせ、100mの長さに挑戦していくようにしていく。 ・長さの量感をもてるように巻き尺で測定するだけでなく、巻き尺がない場合も考えていろいろな方法で量感を味わうようにしていく。 ☆長さを比べるのに、歩数や時間などを使うことを想起するようにしていく。 ・結果を発表し合うことにより、人によって、歩いてみた感想やかかった時間や歩数などが違うことを理解できるようにしていく。 	<p>関</p> <ul style="list-style-type: none"> ○100mの長さを調べている。 ◎複数の方法で100mの長さを調べている。(観察、学習プリント)
	<ul style="list-style-type: none"> ○長さを表す単位「km」を理解する。 ・前時で学習した100mの長さを想起し、さらに長い長さについて考える。 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を想起し、100mより長い長さを考えていくようにしていく。 ・1mm、1cm、10cm、1m、10m、100mと今まで学習してきた長さの単位や長さを振り返り、さらに10倍の長さに目を向けられるように助言していく。そして、さらに新しい長さの単位に気付いていくようにしていく。 ・量感をもてるように見当をつけてから、距離測定器を使って1kmを測定する。 ・1kmを歩きながら、時間を計ったり、歩数を調べたりしているような測り方をして量感を育てていくようにしていく。 ☆mm、cm、mの関係を想起し、より長い長さには大きな単位があることに気付けるようにしていく。この時間だけでなく、他の 	<p>考</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「m」の単位で表すと面倒な長い道のりなどは、「m」の単位よりも大きな単位を用いれば、小さな数で表すことができ、便利であると考えることができる。 ◎既習の単位「cm、mm、m」をヒントに、mの単位よりも大きな単位を用いれば小さな数で表すことができ、便利であることから、1mを100か1000集めて大きな単位をつくれればよいと考える。(学習プリント) <p>知</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1000m = 1kmの単位関係がわかっている。 ◎1000m = 1kmの単位関係がわかるとともに、身近な生活と関連づけて理解している。(学習プリント)
	<ul style="list-style-type: none"> ・1kmという新しい単位を知る。 ・1kmを歩く。 	個	個	見 通 し 2
	<ul style="list-style-type: none"> ・学習感想を書く。 	個	個	
		全	全	

	<p>○道のりや距離の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を想起し長さについて整理する。 ・絵地図を基に道のりや距離の意味を理解する。 ・絵地図を基に問題づくりをする。 ・つくった問題を発表し、解き合う。 ・学習感想を書く。 	7	全 全 個 全 個	<p>時間でも長い長さを測定していく中で、1000m = 1 kmの単位関係を理解していくようにしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道のりや距離の記入がしていない絵地図を提示し、道のりや距離、かかる時間などを話しながら児童に知らせることを通して絵地図の様子などを理解できるようにしていく。 ・絵地図を見ながら、道のりや距離などを求める問題を考えていくようにする。 <p>☆絵地図からわかることをもとにして、問題をつくり、友だちの問題を解いていったりできるように助言していく。</p>	<p>表</p> <ul style="list-style-type: none"> ○絵地図などから道のりや距離を調べ、正しくノートに記録したり、問題をつくりたりすることができる。 ◎絵地図などから、道のりや距離を調べ、正しく記録したり、問題をつくりたりすることができ、単名数と複名数の変換がすばやくできる。 <p>(絵地図、学習プリント)</p>	
まとめ広げる	<p>○今まで学習してきたことを使って、身の回りで生かせることはないか考え、自分で調べたい課題を持つことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにはいろいろな長さの表示があることを写真を見ながら知る。 ・今までの学習を基に自分で取り組んでみたい問題を考え、取り組む。 <p>○学校からいろいろな場所までの道のりを実際に歩きながら道具を使って測ることにより、長さの量感を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループの課題に取り組む。 <p>○算数への興味を広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時で調べてきたことを基に絵地図クイズやパンフレットをつくる。 ・学習感想を書く。 	8 9 ・ 10 11	全 グ グ グ 個	<p>・身の回りにはいろいろな長さの表示があることを写真を見ながら知る。(km表示も含めて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校近辺の地図を見ながら、どんなことができそうか助言していく。 <p>☆どんな課題であれば、自分たちで取り組みそうか話しながら助言していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太田小とその周囲の絵地図を用意して、一部を計測しておき、どこをどのように計測したらよいか分かるようにしておく。 ・いろいろな長さを予想、計測することにより、長さの量感を持つるようにしていく。 <p>☆なかなか測定することができない児童にはつまづきを把握し、調べるめあてをもたせ、計測していけるように助言していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味・関心に応じて学校近辺の道のりを調べたり、1 kmの道のりを調べたりして測定することにより計測の習熟を図っていく。 ・距離測定器などを利用し、短時間でいろいろな距離を調べられるようにしていく。 ・取り組んだ内容について簡単に発表し、詳しくは仕上がった作品で見ることができるように掲示していく。 ・学校の近辺の絵地図を提示し、調べてきたことを記入し、調べた結果を確認し合う。 ・できあがった作品は、交流している学校の友達に送り、活用してもらおうようにしていく。 <p>☆まとめたことを他の学校の友達に知らせたり、家の人に知らせたりして、最後までがんばるように励ましていく。</p>	<p>関</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これから取り組んでいく課題を考えることができる。 ◎これから取り組んでいく課題を複数考え、積極的に取り組んでいる。 <p>(観察、学習プリント)</p> <p>関</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな場所までの道のりをすすんで調べようとしている。 ◎いろいろな場所までの道のりをすすんで調べ、時間や歩数などの違う表現などで表現しようとしている。 <p>(観察、地図、学習感想)</p> <p>表・知</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな場所までの道のりを正確に測り、「km、m」の単位を用いて表している。 ◎いろいろな場所までの道のりを手際よく正確に測り、「km、m」の単位を用いて分かりやすく表している。 <p>(地図)</p> <p>関</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分たちが調べてきたことを基にして、まとめようとしている。 ◎自分たちが調べてきたことだけでなく、調べてきたことを加工してすすんでまとめようとしている。 <p>(絵地図クイズ、パンフレット)</p>	見 通 し 3

2 本時案

(1) 1 / 11

ア. ねらい

校舎内を計測することを通して、長いものの長さを工夫して計測している。

イ. 準備

教師 1 mものさし (3本×8グループ)、学習プリント1、ロープ (8本)、移動式黒板

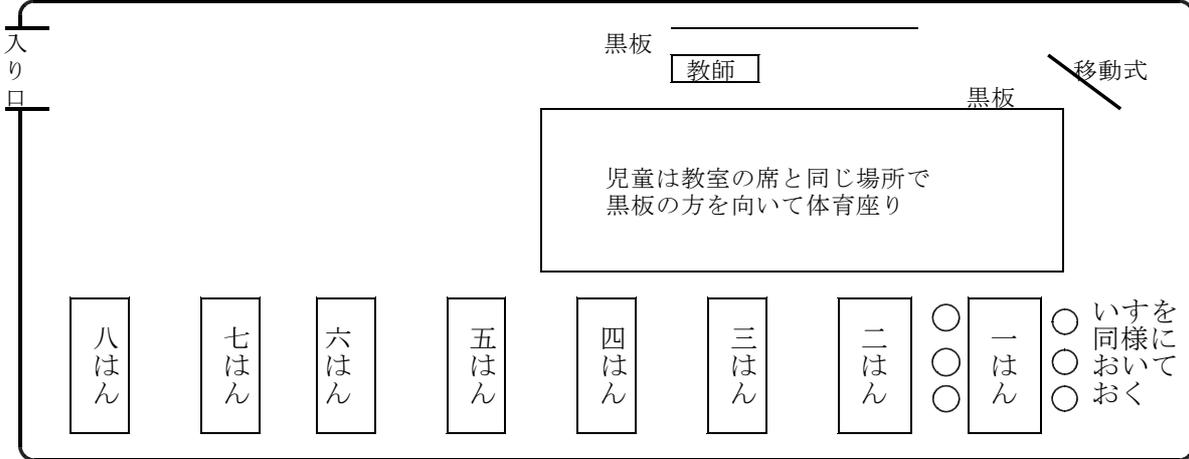
太田市内の小学校からの手紙・校舎の配置図、計測結果の記入用紙 (掲示用)

児童 30cmものさし

ウ. 展開

学習活動 (○) 予想される児童 の反応 (・)	時間	支援及び指導上の留意点 ☆努力を要する状況の児童への手立て	評価項目 (方法) ○おおむね満足できると 判断される状況 ◎十分満足できると判断 される状況
<p>○学習問題を知り、考える。</p> <p>長い長さのはかり方を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の縦と横の長さ ・特別教室の縦と横の長さ ・ろうかの長さ <p>○みんなで決めた場所の長さはどの位になるか予想し、実際に調べる。</p> <p>○計測結果について発表し話し合う。</p> <p>○学習感想を書く。</p>	<p>5</p> <p>25</p> <p>10</p> <p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他の学校の友達からの校舎の大きさを調べた手紙を読み、長さを測ることに興味・関心がもてるようにしていく。 ・既習した学習内容を基にどのように計測したらいいか計測方法を考える。 ・自分の考え (どのようにして長さを予想したか、どのように計測したか) が友だちに伝わりやすいようにいろいろな表現方法 (言葉、図、計算式等) で考える。 ・ものさしで長いものを測ると誤差が出ることを実感できるように共通のものを測るようにしていく。 ☆長さに関心がなく、自ら測ろうとしない児童には自分で計測できそうなものを探したり、友達と協力し合ったりしていくように助言していく。 ・計測結果の問題点を話し合うことにより、長い長さを測る道具の必要性に気付くようにしていく。 ・便利な方法を考えようとする児童には、2年生で学習してきたこととの違いを考えたり、計測で苦労したことを思い出したりするように助言していく。 ☆計測の仕方につまずきがないか実態を把握し、つまずいている児童には計測できそうなものや興味・関心のもてそうなものから計測していくように助言する。 ・学習感想では「今日のじゅぎょうでわかったこと」「感想」「きょうのじゅぎょうについて」(自己評価) などについて児童が記述できるものを用意する。またその時間の友達の考えと自分の考えを比べ、考え方のよさを振り返ることができるようにする。 	<p>表</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1 mものさしや30cmものさしを使って正確に計測することができる。 ◎ 1 mものさしや30cmものさしを使って手際よく正確に計測することができる。(観察、学習プリント1) <p>関</p> <ul style="list-style-type: none"> ○長い長さを測るには、ものさしでは不便なことに気付き、便利な方法はないか考えている ◎長い長さを測るには、ものさしでは不便なことに気付き、ひもを使うなど具体的な方法を考えている。(学習プリント1)

学習場所：3階多目的ホール



長い長さをはかろう 学習プリント1 名前 _____

学習問題 長い長さのはかり方を考えよう

1. 本田小の校舎の中の長さで調べたいところは、どこですか？また、どうして、その長さを調べたいのですか？



2. 長さをはかるところ

・どのようにしてはかりますか？(図や文などで)

・よそうとその理由(どうして、その長さだと思いましたか?)

・結果

3. みんなの結果と比べて

4. 長い長さをはかるとは、どのようにしたら、いいでしょうか？

5. 学習感想

・きょうのじゅぎょうでわかったこと

・よかった考え方

・次にやってみたいこと

○きょうのじゅぎょうについて(記号に○を付けてください)

ア. とってもがんばった イ. がんばった ウ. もう少しがんばろう エ. がんばろう



(2) 2・3 / 11

ア. ねらい

長い長さや丸いものの長さを測る道具をつくることができ、そのよさを理解する。

イ. 準備

教師 校舎内外の写真、学習プリント2・3、リボン、1mものさし、段ボール紙、ベニア板、ラップのしん(8本)、ビニルロープ、ゴム、ガムテープ(紙に貼り付けたもの)、フラフープ、記録用模造紙、マジック、

児童 30cmものさし、学習プリント1(算数ファイル)

ウ. 展開

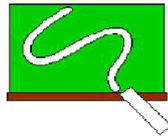
学習活動(○) 予想される児童 の反応(・)	時 間	支援及び指導上の留意点 ☆努力を要する状況の児童への手立て	評価項目(方法) ○おおむね満足できると 判断される状況 ◎十分満足できると判断 される状況
<p>○前時の学習を振り返り、長い長さを測る道具の必要性を想起する。</p> <p>○学習問題「長いものやいろいろな長さがはかれる道具を發明しよう」を考える。</p> <p>長いものやいろいろなものの長さがはかれる道具をつくろう</p> <p>○測定に使う道具をつくる。</p> <p>・リボンに1m、10cmごとの印をつけ、手作りのものさしをつくる。</p> <p>○測定したい場所を考える。</p> <p>○手作りのものさしで長さを調べる。</p> <p>1班 トラック 1周(校庭)</p> <p>2班 体育館1周</p> <p>3班 屋上の横</p> <p>4班 屋上のななめ</p> <p>5班 体育館の縦</p> <p>6班 屋上</p> <p>7班 靴箱の長さ</p> <p>8班 黒板の横</p> <p>○学習のまとめをし、学習感想を書く。</p>	<p>5</p> <p>10</p> <p>25</p> <p>5</p> <p>40</p> <p>5</p>	<p>・前時に学習した、1mものさしで計測するのは、時間がかかったり、誤差が出たりすることを想起して道具を工夫していくように助言する。</p> <p>・児童が身の回りのものを使っていろいろな工夫をしながらつくれるように段ボール紙や箱やフラフープやテープなどを準備しておく。</p> <p>・30センチものさしや1mものさしの目盛りの工夫を想起し、使いやすい手作りのものさしをつくるように助言する。</p> <p>☆長いものを測定することや車の走行距離の測定の仕方に目を向けたりして、児童が気付けるようにしていく。</p> <p>・一斉学習の中で測定したいところを出し合い、グループの中で計測する場所を決めやすいようにしていく。</p> <p>・グループでどこを測定したいか話し合う。</p> <p>・学習プリントに記入していく。(測定したいもの、予想、結果)</p> <p>☆測定になかなか興味・関心をもてずにいる児童にはもてるようにどんな長さを知りたいのか話しながら助言していく。</p> <p>☆測定の仕方が不十分な児童には、グループで協力し合い、グループのだれもが正しく計測できるように助言していく。</p> <p>☆長さの見当をつけられない児童には、手や腕などの体の一部で手がかりが持てるように助言していく。</p> <p>・計測結果は短時間に他の児童に知らせられるように、記入用紙を黒板に掲示して、終わったグループより記入していくようにする。</p> <p>・結果だけでなく、測定した感想も聞いていきながら、手作りのものさしのよさに気付くようにしていく。</p>	<p>関</p> <p>○長いものを測るには、巻き尺や回転式の輪のようなような手作りものさしが便利にことに気付き、手作りものさしを使おうとしている。</p> <p>◎長いものを測るには、巻き尺や回転式の輪のようなような手作りものさしが便利にことに気付き、すすんで手作りものさしを使いながら、手作りものさしのよさを確かめようとしている。(観察、学習プリント2)</p> <p>表</p> <p>○身の回りの具体物の長さを手がかりとして、長さの見当をつけ、身の回りの長さを正確に測定することができる。</p> <p>◎自分の体の一部や身の回りの具体物の長さを手がかりとして、長さの見当をつけたり、身の回りのものの長さを手際よく正確に測定することができる。(学習プリント3)</p>

長い長さをはかろう 学習プリント2

名前

1. どんな道具をつくりましたか？絵やことばでかいてください。

2. くふうしたところを書きましょう。



長い長さをはかろう

学習プリント3

名前

学習問題 自分たちでつくったものさしで、長さをはかってみよう。

1. 長さをはかるところ



・長さのよそ

・はかるところ



2. じぶんたちがつくったものさしで、長さをはかってみかんそうを書いてください。

3. 学習感想

○きょうのじゅぎょうでわかったこと



○きょうのじゅぎょうでよくわからなかったこと・先生に聞きたいこと

○自分たちでつくったものさしを使って、学校や家で長さをはかってみたいものはありませんか？あったらいくつでもいいですから、書いてください。

○きょうのじゅぎょうについて（記号に○を付けてください）

ア. とってもがんばった イ. がんばった ウ. もう少しがんばろう エ. がんばろう

(3) 4 / 11

ア. ねらい

巻き尺の使い方を知り、その習熟を図り、長さの量感を育てる。

イ. 準備

教師 学習プリント4、巻き尺（10m用）8個、巻き尺の拡大したもの、巻き尺の問題（提示用）

児童 30cmものさし、生活科バック

ウ. 展開

学習活動 (○) 予想される児童 の反応 (●)	時 間	支援及び指導上の留意点 ☆努力を要する状況の児童への手立て	評価項目 (方法) ○おおむね満足できると 判断される状況 ◎十分満足できると判断 される状況
<p>○前時の学習を想起し、手作りものさしの長所や短所を確認し、長さの測定の道具、巻き尺とその使い方を知る。 ○巻き尺の目盛りを読む。</p> <p>○学習問題を知り、調べる。</p> <p>巻き尺を使って長さをはかってみよう</p> <p>○測定した結果を画用紙に記入し、他の班の児童に伝える。</p> <p>○学習感想を書く。</p>	<p>10</p> <p>10</p> <p>20</p> <p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を想起し、手作りものさしの長所や短所を確認し、巻き尺の道具の有用性や使い方を理解できるようにしていく。 ・巻き尺には、見やすい目盛りがついている、直線や曲線も測定できる、伸び縮みしないなど、手作りものさしと共通点があることに気付くようにしていく。また、巻き尺は、コンパクトに収納できることなども実際に使用しながら気付くようにしていく。 ・巻き尺で計測する場合、線などに沿って曲がらないように気を付けることにも気付くようにしていく。 ☆巻き尺の目盛りの読み方は30cmものさしなどと同じ読み方であることに気付くように両者が比較できるようにしておく。 ・前時に手作りものさしで測定したものの長さを巻き尺を使って確認し、手作りものさしでもおおよその長さが分かることに気付くことができるようにする。 ・前時に計測したものの長さを確認したあとグループごとに計測したいものを相談し、計測していくようにしていく。 ・グループで計測するときに、巻き尺を持つ人、目盛りを読む人、記録する人など分担を交代しながら計測していくようにする。 ・計測する前には長さの見当をつけ、長さの量感が身に付くようにしていく。 ・測定した結果を画用紙に記入し黒板に掲示することで短時間で他の児童に知らせることができるようにしていく。 	<p>知</p> <p>○巻き尺の目盛りを正確に読み取ることがができる。 ◎巻き尺の目盛りを素早く正確に読み取ることができる。 (観察、学習プリント4)</p> <p>表</p> <p>○巻き尺を使って正確に測定することができる。 ◎巻き尺を使って手際よく正確に測定することができる。 (観察、学習プリント4)</p>

長い長さをはかろう 学習プリント4 名前 _____

のメモリの読み方はわかるかな？

① ② ③

学習問題 巻き尺を使って、長さをはかってみよう

1. さのう、手作りものさしではかかったところをはかってみよう。
①さのう長さをはかったところ

②はかった結果

2. 巻き尺を使って、そのほかのものの長さをしらべましょう。

長さを調べたいもの	予 想	結 果

3. 学習感想

○きょうのじゅぎょうでわかったこと

○きょうのじゅぎょうでよくわからなかったこと・先生に聞きたいこと

巻き尺を使って、学校や家で、長さをはかってみたいものはありますか？
あったら、いくつでもいいですから書いてください。

○きょうのじゅぎょうについて（記号に○を付けてください）

ア. とってもがんばった イ. がんばった ウ. もう少しがんばろう エ. がんばろう

(4) 5 / 11

ア. ねらい

100mの長さの量感を育てる。

イ. 準備

教師 学習プリント5、巻き尺（100m用）、ロープ（提示用1m、10m）、
ストップウォッチ（8個）、移動黒板、釘、金槌

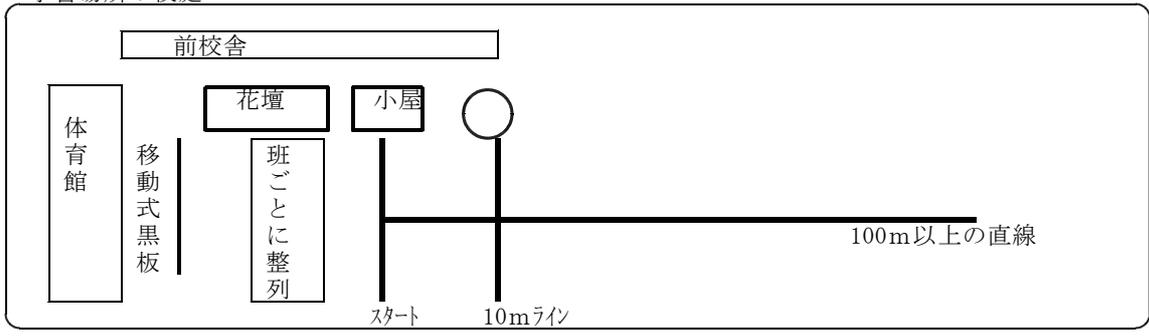
児童 生活科バック

ウ. 展開

学習活動 (○) 予想される児童 の反応 (・)	時 間	支援及び指導上の留意点 ☆努力を要する状況の児童への手立て	評価項目 (方法) ○おおむね満足できると 判断される状況 ◎十分満足できると判断 される状況
○前時の学習を想起し、巻き尺のよさを確認する。 ・長いものが一気に測れる。 ・見やすい目盛りがついている。 ・伸び縮みしない。 ・直線だけでなく、曲線も測定できる。 ・簡単に収納できる。	5	・前時の学習を振り返り、巻き尺の道具の有用性を想起する。 ・巻き尺のよさを確認していく中で自分たちがつくった手作りものさしとの共通点も確認し、自分たちで便利な道具はつくれるという気持ちも大切にしていく。	<p>関</p> <p>○100mの長さを調べている。 ◎複数の方法で100mの長さを調べている。</p>
○学習問題を知り、調べる。 100mさがしゲーム をしよう	5	・前時の学習で行った長さよりももう少し長い長さを測ろうという意欲をもたせ、100mの長さに挑戦していくようにしていく。 ・スタート地点と10mの場所に石灰で印をつけておき、それをヒントにして各グループで自分たちで100mの場所を探していくようにする。	
○各自一人一人が方法を考え、自分で10mまでの長さを体で確か	20	・児童は予想した100mの地点に立ち、地面	

<p>めながら、100mの長さを探していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩数を調べる。 ・靴の大きさを調べる。 ・みんなで並んでみる。 ・10mの歩く時間を計り、それをもとにして100mの位置を決める。 <p>○長い巻き尺を使って100mの場所を確認し、自分が予想した100mの場所と比べる。</p> <p>○学習感想を書く。</p>	<p>10</p> <p>5</p>	<p>に印を付けるようにして他にも分かるようにしていく。</p> <p>ルール</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今までの学習をつかって、100mを見つける。 2. 10mの長さを覚えるのは3分間。 3. それをもとに100mの長さを調べる。 4. 100mと思ったところに地面に印を付けて立っている。 5. 1回目が終わったら、50mの長さを教える。 6. それをもとにして、もう1回だけ自分で100mの位置を確認する。(ちがうと思ったら場所をやり直し) <ul style="list-style-type: none"> ・100mの測定は、2回に分けて行い、1回目では50mの地点を教えて、児童にさらに確認できるようにし、調整できるようにしていく。 ☆歩幅と距離の関係や時間と距離の関係に気付いていけるように生活場面を振り返っていく。 ・長さの量感をもてるように巻き尺で測定するだけでなく、巻き尺がない場合も考えているいろいろな方法で量感を味わうようにしていく。 	<p>(観察、学習プリント5)</p>
--	--------------------	---	---------------------

学習場所：校庭



長い・長さをはかろう 学習プリント5 名前 _____

学習問題 100mさかしゲームをしよう
1. 100mのさかし方を考えよう。

はじめに考えたこと

さかし始めて方法が変わった人はこちらにその方法を書いてください。

2. 学習感想

○さし方のじゅぎょうでよかったこと 

○さし方のじゅぎょうでよくわからなかったこと・先生に聞きたいこと

○ほかにも見つける方法があるかな？考えてみましょう。

○さし方のじゅぎょうについて(記号に○を付けてください)

ア. とってもがんばった イ. がんばった ウ. もう少しがんばろう エ. がんばろう

(5) 6 / 11

ア. ねらい

長さを表す単位「km」を理解する。

イ. 準備

教師 学習プリント6、巻き尺、距離測定器（8台）、ストップウォッチ、歩数計、校庭図

児童 生活科バック

ウ. 展開

学習活動(○) 予想される児童 の反応(・)		支援及び指導上の留意点 ☆努力を要する状況の児童への手立て	評価項目(方法) ○おおむね満足できると 判断される状況 ◎十分満足できると判断 される状況
<p>○前時の学習の100mの長さを想起し、さらに長い長さについて考える。</p> <p>100mより長い長さをはかってみよう</p> <p>○どんな長さにするか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・200m ・300m ・100mの10倍 <p>○1kmという新しい単位を知る。</p> <p>○1kmを調べる。</p>	20	<p>・前時の学習を想起し、100mより長い長さを学習していくようにしていく。</p> <p>☆1mm、1cm、10cm、1m、10m、100mと今まで学習してきた長さの単位や長さを振り返り、さらに10倍の長さに目を向けられるように助言していく。そして、さらに新しい長さの単位に気付いていくようにしていく。</p>	<p>考</p> <p>○「m」の単位で表すと面倒な長い道のりなどは、「m」の単位よりも大きな単位を用いれば、小さな数で表すことができ、便利であると考えることができる。</p> <p>◎既習の単位「cm、mm、m」をヒントに、mの単位よりも大きな単位を用いれば小さな数で表すことができ、便利であることから、1mを100か1000集めて大きな単位をつくれればよいと考える。(学習プリント6)</p>
<p>○1kmを歩く。</p>	20	<p>・1kmの量感をもてるようにするために、前時に学習した100mの長さを基にして、1kmを見当を付けるようにしていく。</p> <p>・校庭の図を提示し、どのような経路で計測していくのか分かるようにしていく。</p> <p>・量感をもてるように見当をつけてから、距離測定器を使って1kmを測定する。</p> <p>・スタートを玄関前にして、グループごとに距離測定器を使い、100mごとに交替しながら1kmを測定していくようにする。</p> <p>☆この時間だけでなく、他の時間でも長い長さを測定していく中で、1000m=1kmの単位関係を理解していくようにしていく。</p> <p>・1kmを歩きながら、時間を計ったり、歩数を調べたりしているいるなはかり方をして量感を育てていくようにしていく。</p>	<p>知</p> <p>○1000m=1kmの単位関係がわかっている。</p> <p>◎1000m=1kmの単位の関係がわかるとともに、身近な生活と関連づけて理解している。(学習プリント6)</p>
<p>○学習感想を書く。</p>	5		

長い長さをはかろう 学習プリント6 名前 _____

学習問題 100mより長い長さをはかってみよう

1. どんな長さになるかな?

2. _____ をまいて思ったこと

3. 学習感想

○ぎょうのじゅぎょうでわかったこと _____

○ぎょうのじゅぎょうでよくわからなかったこと 先生に聞きたいこと _____

○ぎょうのじゅぎょうについて(記号に○を付けてください)

ア. とってもがんばった イ. がんばった ウ. もう少しがんばろう エ. がんばろう

(7) 8 / 11

ア. ねらい

今まで学習してきたことをつかって、身の回りで生かせることはないか考え、自分で調べたい課題をもつ。

イ. 準備

教師 学習プリント8、学校近辺の地図

ウ. 展開

学習活動 (○) 予想される児童 の反応 (・)	時 間	支援及び指導上の留意点 ☆努力を要する状況の児童への手立て	評価項目 (方法) ○おおむね満足できると 判断される状況 ◎十分満足できると判断 される状況
○前時までの学習を想起し、長さについて、整理する。 ○学習問題を考える。 今まで学習したことをもとにして、長さの勉強をつかってチャレンジしていこう ・名所マップづくり ・学校から1kmはどこだ調べ ・学校からここまで何メートル? ・道のりと時間調べ ○グループで行う課題を決める。 ○課題が決まったら、計画を立てる。 ○学習感想を書く。	5 10 15 10 5	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習に使用したひも(1m、10m)や100m、1kmの長さを計測したときの写真などを提示し、長さの量感を想起できるようにしていく。 ・今まで学習してきたことをもとにして、自分たちの身の回りに生かしていくことはできないか、考えていくようにする。 ・学校内の長さはいろいろ計測して分かったことから、身の回りの長さにも目を向けていくようにしていく。 ・学校近辺の地図を見ながらどんなことができそうか助言していく。 ・一斉学習の中でどんなことができそうか話し合い、その後、グループごとに自分たちが調べたい課題を決めていく。 ☆どんな課題であれば、自分たちできそうか、興味があるか助言していく。 ・調べたことを使って、どんなことができるのか考えるようにして、児童に調べてくる目的がもてるようにする。 ・どのように調べていくのか順路や必要なものなどを話し合うようにしていく。 	<p>関</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分で取り組んでいきたい課題を考えることができる。 ◎自分で取り組んでいきたい課題を複数考えることができる。(学習プリント8)

長い長さをはかるう 学習プリント8 名前 _____

学習問題
 今まで学習したことをもとにして、長さの勉強をつかってチャレンジしていこう はい

○今までの勉強をふりかえって、長さをつかって身の回りで調べてみたいことをかきましょう。

○ぎょうのじゅぎょうでよくわからなかったこと 先生に聞きたいこと 

○ぎょうのじゅぎょうについて(記号に○を付けてください)

ア. とってもがんばった イ. がんばった ウ. もう少しがんばろう エ. がんばろう

(8) 9・10/11

ア. ねらい

学校からいろいろな場所までの道のりを実際に歩きながら道具を使って測ることにより、長さの量感を養う。

イ. 準備

教師 太田小周辺の地図(グループに1枚)、距離測定器(7台)、使い捨てカメラ(グループで一つ)

児童 生活科バック、時計(グループで一つ)、地図(グループで一つ)

ウ. 展開

学習活動(○) 予想される児童 の反応(・)	時 間	支援及び指導上の留意点 ☆努力を要する状況の児童への手立て	評価項目(方法) ○おおむね満足できると 判断される状況 ◎十分満足できると判断 される状況
<p>○今までの学習を基に自分で取り組んでみたい問題を考え、取り組む。</p> <p>自分たちの調べたい町の道のりをしらべよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校周辺の地図をつくる。 歩数と距離の関係を調べる。 時間と距離の関係を調べる。 他の測定してみたいものを測定する。 <p>○集合場所に集まり、次時の予告を聞く。</p>	<p>5</p> <p>75</p> <p>10</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループごとの課題を確認して課題意識をもって、活動に取り組んでいけるようにしていく。 グループで校外に調べに行くので安全面に気を付けていくように伝えていく。 1班…学校から1kmほどこたさがし1km地点から本町通りまで道のり調べ 本町通りから学校までの道のり調べ 2班…学校から大光院までの道のり調べ 大光院内の大回りの長さ調べ 大光院から高山神社までの道のり調べ 3班…学校からストアーまでの道のり調べ 大門通りの道のり調べ 高山神社内の道のり調べ 4班…学校から大光院までの道のり調べ 八瀬川の長さ調べ (大光院周辺から太田病院の近くまで) 病院から学校までの道のり調べ 5班…学校から大光院までの道のり調べ 八瀬川の長さ調べ 病院から学校までの道のり調べ 6班…学校から大光院までの道のり調べ 大光院から高山神社までの道のり調べ 高山神社から学校までの道のり調べ 7班…学校から大光院までの道のり調べ 大光院から高山神社までの道のり調べ 高山神社から学校までの道のり調べ 11時30分には学校に戻れるように調べるのが途中で終わりにすることを伝える。また、時間がある場合は、近くの道のりを計測してもいいことを伝える。 いろいろな長さを予想、計測することにより、長さの量感を持てるようにしていく。 児童の興味・関心に応じて学校周辺の地図をつくったり、クイズ形式のパンフレットをつくったりしていくことにより、計測の習熟を図ったり、量感を豊かにしたりしていく。 距離測定器を利用し、短時間でいろいろな距離を調べられるようにしていく。 ☆道のりを調べることに関心がないような児童には、興味・関心のもてそうな話題(日頃歩いているところや興味のあるお店や場所など)を話していく。また、計測の仕方などの疑問点を明らかにしたりしてしていく。 記録用にグループに一つ地図を用意し、記入していくようにする。 距離測定器で計測する人、記録する人などグループで交代しながら計測するようにしていく。 調べてきた様子を聞き、詳しくは次時にまとめていくことを伝える。 	<p>関</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな場所までの道のりをすすんで調べようとしている。 ◎いろいろな場所までの道のりをすすんで調べ時間や歩数などの違う表現などで表現しようとしている。(観察、地図、学習感想) <p>表・知</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな場所までの道のりを正確に測り、「km、m」の単位を用いて表している。 ◎いろいろな場所までの道のりを手際よく正確に測り、「km、m」の単位を用いて分かりやすく表している。(地図)

学習の集合場所：校庭

裏校舎

班ごとに 前校舎
整列 (1班ごとに出発)

※尚、安全面を配慮し、各グループに保護者の引率をお願いする。

長い長さをはかろう 学習プリント9 名前 _____

学習問題 自分たちのしらべたい町の道のりをしらべよう		はん
しらべるところ	よそう	しらべた結果

○ぎょうのかんそう 

○ぎょうのじゅぎょうでよくわからなかったこと・先生に聞きたいこと

○ぎょうのじゅぎょうについて(記号に○を付けてください)

ア. とってもがんぼった イ. がんぼった ウ. もう少しがんぼろう エ. がんぼろう

(9) 11 / 11

ア. ねらい

調べてきたことをつかって、自分たちで表したい方法を考え、表現することができる。

イ. 準備

教師 写真、学校近辺の地図、四切色画用紙、色上質紙、ケント紙

児童 はさみ、のり、セロテープ

ウ. 展開

学習活動 (○) 予想される児童 の反応 (・)	時 間	支援及び指導上の留意点 ☆努力を要する状況の児童への手立て	評価項目 (方法) ○おおむね満足できると 判断される状況 ◎十分満足できると判断 される状況
<p>○前時で調べてきたことを確認し合う。</p> <p>調べてきた道のりをつかって、まとめよう。</p> <p>○自分たちが調べてきたことをつかって、絵地図やおもしろパンフレットなど自分たちが表現したい方法でまとめる。</p> <p>○学習感想を書く。</p>	<p>5</p> <p>35</p> <p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校近辺の絵地図を提示し、調べてきたことを記入し、調べた結果を確認し合う。 調べてきたことをまとめ、他に発信していくことをめあてにして、自分たちで表現したい方法で表現していく。 クイズや説明などの表現方法が決まったらまず、一人で考え、それらを出し合ってまとめていくようにしていく。 ☆まとめたことを他の学校の友達に知らせたり、家の人に知らせたりして、最後までがんばれるように励ましていく。 仕上がったものはいろいろな人に見てもらうことを考え、興味・関心のもてそうな内容やわかりやすい表現になっているか、支援していく。 前時に撮ってきた写真を作品に活用し、場所の様子が分かりやすくなるように工夫していく。 取り組んだ内容について簡単に発表し、詳しくは仕上がった作品を見ることができるように掲示していく。 できあがった作品は、交流している学校の友達に送り、活用してもらうようにしていく。 	<p>関</p> <p>○自分たちが調べてきたことを基にして、すすんでまとめようとしている</p> <p>◎自分たちが調べてきたことだけでなく、他のグループの調べてきたことを基にしてすすんでまとめようとしている。 (観察、パンフレット、学習感想)</p> <p>表・知</p> <p>○調べたことを基に、正確に長さの単位を用いて表すことができる。</p> <p>◎調べたことを基に、的確に長さの単位を用いて表したり、時間や歩数などで表したりすることができる。 (パンフレット、学習感想)</p>

長い長さをはかるう 学習プリント10 名前 _____

学習問題
しらべたことをつかって、まとめていこう

はん

○自分たちがつくるもの

※まず、自分で一人ずつつくってみよう。(もんだいだったら、もんだいを)

○ぎょうのかんそう



○ぎょうのじゅうぎょうについて(記号に○を付けてください)

ア. とつてもがんばった イ. がんばった ウ. もう少しがんばろう エ. がんばろう